

【資料の見方】

平均正答率の違い

国語A	している	80.1%		
	全くしていない	68.8%	差	11.3%
国語B	している	76.1%		
	全くしていない	59.9%	差	16.2%
数学A	している	67.4%		
	全くしていない	55.8%	差	11.6%
数学B	している	50.6%		
	全くしていない	40.8%	差	9.8%

※ このことから、生徒が家庭で学校での出来事を話することにより、正答率が10%も向上しています。さらに国語B（活用力）においては、さらに向上する率が高いことがわかります。

ゲームやテレビ等のメディアから離れ、「家庭での豊かな対話」をすることが、生徒の精神面での安定や、学力向上にはとても大切です。

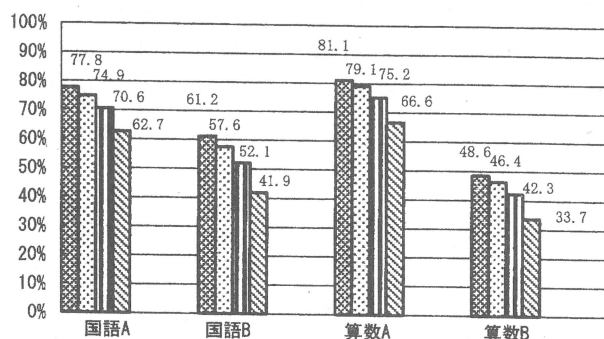
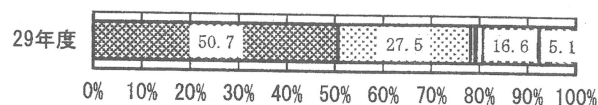
○ 以下のデータは、

「平成29年度全国学力学習状況調査報告書」文部科学省 国立教育政策研究所
42ページの抜粋です。

■	している	■	どちらかといえば、している	■	あまりしていない
■	全くしていない	■	その他	□	無回答

	質問番号	質問事項
小	24	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか
中	26	

【小学校】



【中学校】

